

薬学部・保健医療学部・公衆衛生看護学専攻科の
入学生の皆様へ

北海道科学大学
学長 川上 敬

臨床実習における感染管理について —感染症の予防対策およびワクチン接種に関する説明書—

薬学部、保健医療学部、公衆衛生看護学専攻科では、医療従事者を目指す学生として、実習で多くの方と接する機会があります。そのため、自身を感染症から守ると同時に、他者への感染を防ぐため、積極的な感染症予防が必要です。

本学では、日本環境感染学会の『[医療関係者のためのワクチンガイドライン](#)』（以下、ワクチンガイドライン）に基づく感染対策を実施していますが、入学生の皆様には、感染症予防とワクチン接種の必要性をご理解いただき、入学後に配布される「ワクチン接種に関する同意書」の記入・提出をお願いいたします。

1. 対象となる感染症について

対象となる感染症は以下の通りです。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・麻疹（はしか） | ・ B 型肝炎 |
| ・ 風疹 | ・ 医療機関で推奨される感染症 |
| ・ 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | （インフルエンザなど） |
| ・ 水痘（みずぼうそう） | |

上記のうち、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・B 型肝炎の 5 種については、入学時の健康診断で抗体検査を行い、免疫状況を確認します。

2. ワクチン接種が必要となる場合について

ワクチンガイドラインに基づき、罹患歴（感染経験の有無）やワクチン接種回数、抗体検査結果によって、基準を満たさない感染症に対して追加接種が必要となる場合があります。

3. ワクチン接種の利点と注意点について

ワクチン接種には以下の利点と注意点があります。

- ・ **利 点**：自身の感染リスクおよび他者への感染拡大リスクを減らせます
- ・ **注意点**：接種後に副反応が生じる可能性があります

接種の際は、医療機関で効果や副反応について説明を受けた上で、各自で実施の判断をしてください。また、費用は自己負担となります。

なお、ワクチン接種に法的な強制力はありませんが、実習先の多くが、同ワクチンガイドラインに沿った感染症対策を行っています。必要とされる予防対策を講じていない場合、実習先から実習許可が下りず、実習への参加や単位取得に影響が出る可能性がありますことをご承知おきください。

4. ワクチン接種に関する同意書について（入学後の配付・提出）

入学後に配布される「ワクチン接種に関する同意書」に記入・提出をお願いいたします。同意書は所属学科で管理され、卒業または退学時に破棄いたします。同意いただけない場合は、後日、学科教員が個別対応を行います。

5. 罹患歴の確認について

ワクチン接種に関する同意書には4種の感染症（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘）の罹患歴も記入していただきます。4種の感染症(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘)の感染経験について、予めご家族に確認していただきますようお願いいたします。なお、感染の記録（検査結果等）の有無は問いません。

<同意書の記載例>

感染症名	ワクチン接種の同意について	同意しない場合の理由	罹患歴(感染経験)
	「同意する」「同意しない」のどちらかに○をつけてください	例: ワクチン接種によりアナフィラキシーショックなどの重い症状が出るため	罹患した記録(検査結果等)の有無は問いませんので該当するものに○をつけてください
麻疹 (はしか)	<input checked="" type="radio"/> 同意する <input type="radio"/> 同意しない		<input checked="" type="radio"/> 罹患あり <input type="radio"/> 罹患なし・不明

6. 母子健康手帳（原本）の準備について

入学後、予防接種歴の確認に母子健康手帳（原本）を使用します。予めご自身のお手元にご準備ください。提出方法や日程については所属学科により異なりますので、入学後の新入生ガイダンスで案内します。

母子健康手帳を持参できない場合は、新入生ガイダンスで教員にご相談ください。

7. 入学前の本件に関する問い合わせ先

北海道科学大学 医務室 T E L : 011-688-2319（平日 8 : 30～17 : 00）

E-mail : imushitsu@hus.ac.jp

<参考>

日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン第4版」

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/vaccine-guideline_04-2.pdf